

芥川緑地資料館 あくあぴあ芥川

運営報告 ～平成21・22年度～



あくあぴあは高槻の自然がわかる
みんなの博物館を目指します

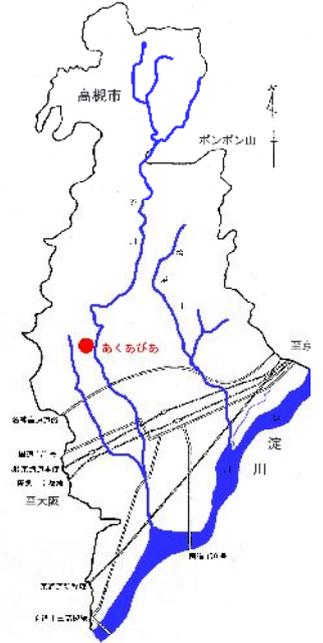




あくあびあってこんなところ

あくあびあは大阪府高槻市立の施設で、正式名称を「芥川緑地資料館（あくあびあ芥川）」（以下あくあびあ）といい、地域の交流拠点として芥川の魚の展示を中心に、高槻市の生きものを紹介する施設として平成6年にオープンしました。平成21年から高槻市はあくあびあを生涯学習の場として、また市の「芥川創生基本構想」における「市民活動の拠点」として位置づけ、民間による柔軟な運営を行うため取り入れた指定管理者制度により、私達「あくあびあ芥川共同活動体」が館を運営することになりました。そしてあくあびあは市民との交流拠点として、また「博物館」を目指し、新しいスタートを切りました。

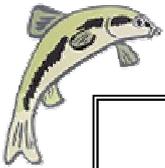
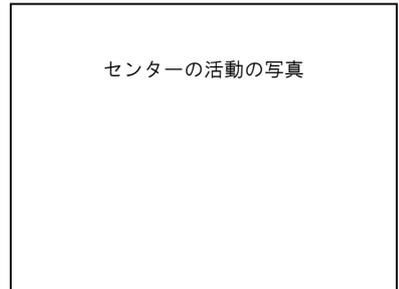
（あくあびあ芥川共同活動体はNPO法人芥川倶楽部と特定非営利活動法人大阪自然史センターで構成される団体です。（NPO）芥川倶楽部は、多くの人々とのネットワークを築きながら芥川の生き物を守り育てる川づくりを目的としています。（特非）大阪自然史センターは大阪市立自然史博物館の友の会の母体となるNPO法人で、自然科学の発展と普及に取り組み、博物館の各種事業の推進を図ることを目的としています。）



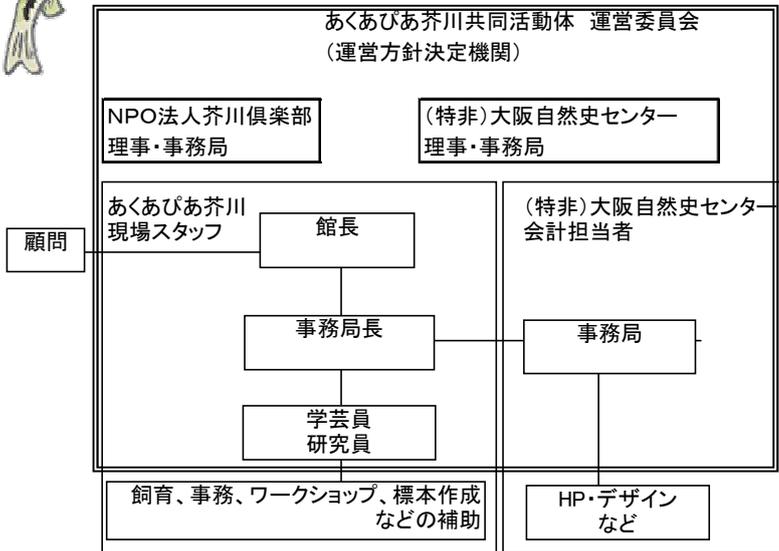
あくあびあの場所



芥川倶楽部の活動
クリーンアップ大作戦



組織



芥川 西之川原付近の風景

あくあびあ芥川共同活動体は芥川創生の理念に基づき、基本方針、①市民と創る「芥川」、②市民を育て、③市民と楽しみ、④市民が支える「交流拠点」の実現を目指し、社会教育・資料収集などさまざまな事業の推進とその改善を図るとともに、自主事業も展開してきました。幸いにも多くの市民の理解と支援を得て多くの成果をあげる事ができたと考えています。あくあびあの平成21・22年度の事業を紹介します。

（芥川創生基本構想

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/db/seisui/seisaku-akutagawasousei.html>)

ごあいさつ

平成21年度4月から芥川緑地資料館が指定管理制度に基づき新たにスタートし、種々の展示や観察会を積極的に実施してまいりました。そのおかげで子どもの入館者やリピーターとしてきてくださる方も徐々に増え、23年度からスタートする「あくび・くらぶ」の設立につながったと思います。最初は少し不安もありましたが、多くの方々の方々の応援を受け、初代館長として2年間無事勤めさせていただきました。本当にありがとうございました。

田口圭介



施設

4 F

あくあびあは傾斜地に建っているの、入り口は最上階と2階、1階にあります。駐車場からは池にかかる橋を渡って最上階のピロティーに入ります。ピロティーからは西之川原の開けた田園と、北摂の山々が見渡せます。気候の良いときにはお昼ご飯を食べたり、ゆっくりくつろぐのに最適です。

3 F

図書コーナーには自然に関する本がたくさん揃っているの、調べ物に最適。カウンターミュージアムショップでは、調べ物に便利なグッズや本などを販売しています。多目的ホールは講座やイベントなどで使います。生き物に関する講座もできます。平成22年から「赤ちゃんの駅」に参加し、会議室を授乳室として使用できるようになりました。生き物のことや地域のこと、利用のことなど、わからないことはカウンターでスタッフに気軽に聞いてください。

2 F

2階は芥川に生息する淡水魚をメインとしたミニ水族館です。大きなジオラマ水槽で芥川の魚が泳いでいます。魚以外にもカメやカエル、ヘビなど、芥川とその周辺の生きものも飼育しています。平成22年からは2階の多目的トイレにはオムツ換えシートを設置しましたのでご利用ください。

1 F

鳥類・哺乳類・その骨格、昆虫などの標本を展示しています。ポンポン山を紹介するスペースではシカやイノシシなど大型哺乳類の剥製などがあります。工作室では毎週土曜日に自然工作教室が行われます。館外の水上ステージではリバーサイドコンサートやあくあびあ・ふれあいフェスタなどのイベントを開催しています。ここからの遊歩道で芥川沿いを散歩できます。



「おらが町の博物館」

あくあびあ芥川の指定管理オープニング記念のフォーラムで「おらが町の博物館」と題して講演したことを覚えています。明治以降、中央集権的な博物館からはじまり、高度成長期には行政や企業が多くの博物館を建設し運営してきました。これらの博物館では、地方に関する視点はやや希薄であったと思います。成熟時代、地方分権時代の今、地方に基軸を置きながら市民が博物館を運営することは重要なことです。

あくあびあ芥川は、高槻市、そして芥川にこだわりつつも、市民組織の共同体である芥川共同活動が運営するという画期的な仕組みを取り入れたものと敬意を表する次第です。小さい博物館のネットワークも動きつつあると聞いています。新時代をリードする博物館としてさらに活躍されることを期待しています。

中瀬 勲（兵庫県立大学教授、兵庫県立人と自然の博物館副館長）





展示

高槻市の自然や生物への興味をわかりやすく紹介し、来館者の興味を引き出すため、子供向けの解説をはじめ、親しみやすい内容の展示となるよう解説パネルなどを工夫しました。

常設展示

3F

ナマズのぬいぐるみと遊べる「ナマズの池」や、カワセミとユリカモメの模様の「なりきりマント」、床のスゴロク、塗り絵など、子どもたちが触って楽しめる展示を行っています。ミュージアムショップには背比べができるヘビの抜け殻、みんなのウンチ、シカの角など、また、かわいいスナネズミ、ドジョウの赤ちゃんを飼育し、来館者に話題提供を行っています。



ナマズの池
ナマズのヌイグルミがたくさん！



なりきりマント
カワセミとユリカモメになりきって飛ぶよ



スゴロク
床にはったスゴロクをたどってみよう！

2F

あくあびあのオープンにあわせて作られた水族館では、継続して芥川の魚、カメ、カエルなどを飼育しています。平成21年からは、芥川につながる琵琶湖、淀川のコーナーを設けました。子どもにもわかりやすいように、キッズパネルで一言コメントをつけ、芥川の流れがわかる大きな地図を床にはりました。やっぱり子どもに人気は大きなカミツキガメ。「外来生物法」により「特定外来生物」に指定され、飼育が禁止されています（あくあびあでは許可を取っています）。標本の作り方の展示や魚の液浸標本、骨格標本も展示しています。



ジオラマ水槽
芥川の魚を展示する14トンの大水槽が3つ



小水槽
それぞれの魚をじっくりみれる水槽がずらり



カミツキガメ
淀川で採集された特定外来生物。かっこいいので子どもに人気



標本展示
魚の標本の作りかたがわかる展示

1F

たくさんの鳥の剥製と骨格標本が充実しているのがあくあびあの特徴。特に羽のついた骨格標本は鳥類ファンや骨ファンに喜ばれています。平成21年に模様替えした「ポンポン山」のコーナーでは大きなシカやイノシシの剥製の他、ポンポン山に生息する昆虫、代表的な樹木の葉、キノコなどを展示しています。昆虫の標本は、展示の解説を増やしたほか、分類の系統がわかるコーナーを作りました。

暗かった1階入り口の廊下にライトを増設し、エントランスとして芥川の魚、カメの飼育展示を始めた他、岩石、地質のコーナーを設けました。



ポンポン山ジオラマ
大きなシカやイノシシの剥製など、ポンポン山の生き物を展示



鳥の剥製がいっぱい
鳥の剥製展示点数では関西一



昆虫標本
高槻市内の昆虫がずらり

企画展示

企画展示コーナーは1階にあります。平成21,22年度には市内に生息する動植物をわかりやすく紹介。小さい子どもが楽しみながら学べる展示、大人がゆっくり鑑賞できる写真展などを実施しました。他の博物館、行政、写真や標本を提供して下さった方、調査に協力いただいた方など、多くの方々の協力で企画展を開催できました。



芥川の魚たち
芥川に生息する魚の紹介と採集漁具などを展示



ホタルの不思議
高槻市内の7種類のホタルとその特徴を紹介。とくに陸生のヒメボタルに着目しました



芥川の植物
川の上流と下流の環境に合わせていろいろな植物がはえています。床の大きな地図と写真を展示。1㎡内にどのぐらいの植物が生えているのかを実感できる展示も好評



鳴く虫巡回展
～鳴いているのは誰だ！～
どの虫がどんな音を出すのか、ボイスレコーダーでわかるように。鳴く仕組みもパネルで解説



不思議なムシ オトシブミ
子育てのために葉っぱを巻いてゆりかごをつくるオトシブミの不思議な生態を、美しい写真で解説



鳥のごはん
鳥はいろいろなものを食べていることを、クチバシの形とあわせて楽しいクイズで解説。なりきりマントが人気



こんなときってどうするの？
～自主防災～
地震、水害などの被害の写真と防災マップ、持ち出し袋などで、防災意識を啓発



魚の顔
魚の正面顔のドアップ写真と、目や鼻などの解説。魚の顔ハメが人気



高槻の冬虫夏草
昆虫などに寄生する不思議なキノコである冬虫夏草のたくさんの標本を展示



	開催日	企画展名
H21	4月1日～5月27日	新スタッフ紹介
	5月28日～7月22日	ミニ展示「標本の作り方」
	7月24日～9月30日	企画展「芥川の魚たち」
	10月4日～11月3日	ミニ展示 「いたこんから鳴く虫がやってきた！」
	11月7日～1月24日	ミニ展示「ミズヒマワリってなあに？」
	2月6日～2月28日	写真展「高槻の里山」
	3月6日～5月9日	企画展 「安田守昆虫展 不思議なムシ オトシブミ」
H22	5月22日～7月4日	ミニ展示「ホタルの不思議」
	7月6日～7月23日	ミニ展示「こんなときってどうしよう～自主防災～」
	7月24日～9月12日	企画展「芥川の植物」
	9月18日～11月7日	企画展 「鳴く虫巡回展～鳴いているのは誰だ！～」
	11月13日～12月12日	ミニ展示「高槻の冬虫夏草」
	12月18日～1月30日	ミニ展示「鳥のごはん」
	2月1日～2月27日	写真展「里の花」
	3月5日～	企画展「魚の顔～目・鼻・口はどんなかな～」





自然観察会

植物、菌類、鳥類、両生類、魚類、昆虫類など、身近な自然を紹介する自然観察会を行いました。新型インフルエンザや天候不順のために中止となったものもありますが、動植物の説明を聞き、実物を観ることにより、参加者は自然に親しみ、生き物の不思議に驚いていました。



春の野草

春の田んぼや川辺に生えるレンゲやタンポポなど、小さな草を観察し、野草の試食をしました。



芥川の生き物調べ教室

あくあびあ前の芥川で魚や水生昆虫などを探しました。



高槻のカエル探し

山のカエル、川のカエル、田んぼのカエルを観察。田んぼの小さな生き物などもたくさん！



セミタケを探そう！

スギ林でヒグラシに寄生する冬虫夏草を探しました。ツブノセミタケがたくさん見つかりました



セミの羽化観察会

夜の芥川緑地でクマゼミやアブラゼミの羽化を観察しました。ライトトラップも実施。



秋の虫を探そう

芥川緑地でバッタなどの秋の虫を探しました。ヨコツナサシガメがイラガの幼虫の汁を吸ってびっくり。虫の世界もきびしい～



お父さんのための魚とり講座
夏休みにお父さんをヒーローにしようと、魚の捕り方や雑学をお父さんにこそり伝授する観察会。お父さんたちガンバレ！



バードウォッチング

芥川とその周辺で身近な鳥を観察しました。美しいカワセミが飛ぶとみんな大興奮！



春の昆虫観察会

まだ肌寒い早春にオトシブミを中心に小さな虫を探しました。タチバナチビチョッキリという珍しい昆虫が捕れてびっくり！

年度	開催日	観察会名	参加者数
H21	4月19日	自然観察会「春の野草」	234
	5月23日	自然観察会「ヒメボタル」 * 新型インフルエンザのため中止	(38)
	6月21日	自然観察会「高槻のカエル探し」	20
	7月12日	自然観察会「セミタケを探そう！」	22
	7月25・26日	自然観察会「芥川の生き物調べ教室」 * 悪天候で中止	(49)
	9月20日	自然観察会「川と水田の植物」	23
	10月25日	自然観察会「秋の虫を探そう」	30
	1月17日	自然観察会「バードウォッチング1」	28
	2月14日	自然観察会「バードウォッチング2」	39
	3月14日	自然観察会「カイガラムシ」	13
H22	4月18日	自然観察会「春の野草」	22
	4月25日	自然観察会「春の昆虫観察会」	38
	5月23日	自然観察会「ヒメボタル」 * 悪天候のため中止	(39)
	6月20日	自然観察会「高槻のカエル探し」	20
	7月11日	自然観察会「照葉樹林のキノコ」 * 悪天候で中止	(22)
	7月18日	自然観察会「セミの羽化観察会」	24
	7月24日	実習講座「お父さんのための魚とり講座」	26
	8月22日	自然観察会「芥川の生きもの調べ教室」	53
	9月11日	「コロギ相撲」	20
	9月12日	自然観察会「川と水田の植物」	19
	9月23日	自然観察会「秋の鳴く虫～声を聞いてみよう～」 * 悪天候で中止	31
	1月16日	自然観察会「バードウォッチング1」	41
	2月11日	自然観察会「バードウォッチング2」	36
2月27日	自然観察会「コケをじっくり見てみよう」	34	
3月13日	自然観察会「冬ごしのいきものたち」	23	

() は申し込み人数

本冊子の項目を示しているムギちゃんことムギツクは、ドンコなど親が卵を守っている巢に托卵する習性をもっています。私の研究室はこの習性を約20年前に兵庫県の川で見つけました。自然は私たちの想像をはるかに超えたイベントをさも当たり前のように繰り返していることがあります。それを見つけた時の幸せはありません。自然の未知の世界を発見する六感を育てるのが、子供の時からの日常の遊びであり、観察会であり、博物館などでの学習です。「あくあびあ」の活動にはそのすべてが盛り込まれていて素晴らしく、うらやましいほどです。



長田 ()



子ども自然ワークショップ

子ども自然ワークショップは子どもたちを対象として、簡単な手作業を通して自然に興味をもつきっかけ作りを目的としています。でも大人も十分に楽しめる内容となっており、付き添いの保護者のほうが真剣になることもありました。ワークショップ中も、スタッフに対して自由に質問できる雰囲気を大切にしたことにより、積極的な質問を引き出し、さらに内容をレベルアップすることができました。毎月の連続した第1土日に加え、8月はお盆の時期の土日にも実施しました。



マーブル模様で川をつくろう
H21年5月5・6日、6月6・7日



おりがみで芥川のいきものを作ろう！
H21年7月4・5日、8月1・2・15・16日、
9月5・6日



コイのたべもの・コイのくち
H22年10月2・3日、11月6・7日
12月4・5日



鳴き声カルタ
H22年1月8・9日



みがいてぴかぴか 木ぎれがへんしん！
H21年10月3・4日、11月7・8日、12月5・6日（中止）、
1月9・10日（中止）、2月6・7日、3月6・7日、
H22年4月3・4日、5月1・2日
*H21年12月・1月実施分は新型コロナウイルス拡大防止のため中止



うつつしてみよう！葉っぱのヒミツ
H22年6月5・6日、7月3・4日
8月7・8・14・15日、9月4・5日



冬の鳥・ハネハネはり絵！
H23年2月5・6日、3月5・6日

後継ぎを育てよう！

「あくあびあ芥川」の2年間の活動記録を拝見して、少ないスタッフにもかかわらず、すごい回数の企画展示、行事やイベント等をこなされているので、驚いてしまった。ちょっとやり過ぎでは？と思うくらいである。ここならではのユニークな企画展示や観察会、講座などもあり、このような地域に根ざした企画は今後も続けて行って欲しい。今後の目標としては、高槻の自然環境を守り、あくあびあをその拠点にできるような、地元生まれの後継ぎを育てる努力をして欲しいと思う。そのためには、地元の調査の時にも観察会で熱心だった子どもたちや市民を巻き込んでいっしょにやり、標本作りや名前調べなども一緒にやって、地元の生き物への愛着が育つように配慮したい。サークルやクラブを作った活動も有効と思う。現在昆虫の専門家がないが、昆虫は多様性の象徴なので、調査・研究・標本整理・展示・教育のためにも、1人は確保して欲しい。



宮武頼夫（檀原市立昆虫館友の会会長）



講座

あくあびあ芥川共同活動体による指定管理の1年目にあたることから、「博物館とは何か」を考える講座を平成21年4月当初に行い、その後、連続講座として高槻の自然に関するさまざまな講座を実施しました。



新あくあびあ～おらが町の博物館

NPOによる新体制で地域に誇れる博物館を目指すあくあびあ。身近な自然環境の減少により、子どもが自然の原体験をできなくなってきました。それを行うのが地域博物館の役割。でも具体的に何を指すの?という方向をパネラーと共に考えました。



郷土が生んだ自然科学者～植物学者・堀田満～

高槻市出身で南方熊楠賞を受賞された植物学者堀田満氏本人から鹿児島県の植物相の豊富さ、調査の現状から、自身の植物との出会い、有用植物辞典を手がけたエピソード、メッシュ調査法を用いてタンポポ調査を始めたエピソードなどを講演いただきました。



オトシブミのひみつ

昆虫写真家安田守氏による、昆虫の擬態などの不思議な生態や、オトシブミが幼虫を育てるために葉を巻いて作る揺籃をどのように作るのか、を美しい写真とともに紹介。



タナゴが育つ川づくり

自然共生センター堂場佑一センター長から川の流程(上流・中流・下流の特徴)と水生生物の生息モデルの説明。タナゴが産卵する二枚貝の生息する場所の特徴を解析した結果を報告。水辺の生き物、特にタナゴ類と二枚貝類には川辺の攪乱が必要。

年度	開催日	イベント名	参加者数
H21	4月26日	あくあびあ連続講座1 「オープニング講演会・新あくあびあ～おらが町の博物館」	55
	5月11日	あくあびあ連続講座2 「郷土が生んだ自然科学者～植物学者・堀田満」	71
	5月15日	芥川・淀川連続講座1 「芥川の生態系と外来種問題」	約50
	6月12日	芥川・淀川連続講座2 「芥川が変わる」	54
	6月19日	芥川・淀川連続講座3 「これからの芥川と淀川」	約70
	9月12日	芥川・淀川連続講座4 「災害は忘れたころにやってくる!～芥川の治水・利水・そして環境～」	約50
	9月13日	あくあびあ連続講座3 「タナゴが育つ川づくり」	47
H22	4月24日	あくあびあ連続講座 「オトシブミのひみつ」	36
	4月24日	芥川・淀川連続講座2010 「歴史から見た芥川」	71
	5月11日	あくあびあ連続講座 「淡水産二枚貝類・種の特徴と生活史～実習と講座」	14
	11月6日	芥川・淀川連続講座2010 「歴史から見た芥川2」	56
	11月7日	あくあびあ連続講座 「ナラ枯れの原因と今後の対策について」	64
	11月29日	博物館スタッフのための技術講座 「プラスチック封入標本の作製」	16



おはなし会

これまであくあびあでは、いちばん小さな子どもたちを対象とする子どもワークショップでも4歳以上を対象としてきたので、2010年夏からは4歳以下も参加できる行事として、おはなし会をはじめました。身近な生きものが主役の絵本の読み聞かせを「おはなしうさぎ」というストーリーテラグループの協力で行い、小さな子どもさんとお母さんに楽しんでもらいました。8月25日、10月27日、12月20日、2月23日の4回開催しました。子どもの年齢が高い場合には、絵本に出てくる生き物を展示室に見に行きました。



絵本に夢中の子どもたち



絵本でみたザリガニを展示室にみに行きました



イベント

みんなが集まれる楽しいイベントとしてコンサート、フェスティバルなどを開催したほか、毎週土曜日に定例事業として自然工作教室を実施しました。「リバーサイドコンサート」、「あくあびあふれあいフェスタ」では、地域の多くの団体と協力し、お互いに交流することができました。



あくあびあリバーサイドコンサート
「音楽で町を明るく」をテーマにした高槻ジャズストリートとのジョイントで、2日間で8バンドが演奏。ジャズストリートの屋台もあってお祭りムードを満喫。

年度	開催日	イベント名	参加者数
H21	5月3日・4日	あくあびあ リバーサイドコンサート	約1600
	7月5日	自然工作教室 「たなばた★竹の工作教室」	20
	8月9日	工作教室 「なまずぐるみをつくろう！」	28
	10月12日	あくあびあ ふれあいフェスタ2009	約1100
	11月1日	スタンドグラス作り教室 ～小さな壁掛けを作ろう～	12
	11月23日	バードカービング作り教室	20
	12月6日	グループジュネス あくあびあコンサート	50
	12月20日	クリスマスリース作り教室	36
	12月23日	ミニ門松作り教室	18
	3月21日	鉛筆画教室	44
H22	5月3日・4日	あくあびあ リバーサイドコンサート	約1600
	7月5日	工作教室 「竹で水鉄砲づくり」	33
	8月9日	夏の工作教室 「草花の版画をつくろう！」	40
	10月17日	あくあびあ ふれあいフェスタ2010	約1030
	11月23日	バードカービング作り教室	32
	12月19日	クリスマスリース作り教室	35
	12月23日	ミニ門松作り教室	25
通年	毎週土曜日	自然工作教室(毎週土曜) *平成21年5月23日、11月21日～1月30日は中止	のべ3952



**あくあびあ
ふれあいフェスタ**
高槻市内で活動する団体との交流をテーマに、平成21年には11団体、22年には9団体がブース出展。調査発表や工作、ミニ観察会などの、参加者が楽しむだけでなく、出展者同士の情報交換もできました。



バードカービング作り教室
カッターを使って木を削り、色を塗って素敵なカモのプローチができました。



草花の版画をつくろう！
スチレンボードを使って自宅でも簡単にできる版画を作りました。植物をじっくり観察し、すてきな版画ができました。



ミニ門松作り教室
竹を切ってナンテンや冬の植物を飾り、正月飾りを作りました。



**グループジュネス
あくあびあコンサート**
室内楽5重奏の演奏で、すてきな時間を過ごすことができました。バイオリン体験も。



自然工作教室
毎週土曜日に開催される自然素材を使った工作教室。作りながら自然について考えてみよう。



調査

芥川を中心に高槻市内の生物の調査を行いました。そのデータをもとに企画展や展示を作成、また、講座や他団体主催の研究会などでも発表しました。

- ＊ **魚類調査** 高槻市内の魚類の生息状況を把握するため、採集調査を行い、企画展において「芥川の魚たち」のパンフレットと普及冊子を作成し、市民に配布しています。また、外来魚情報交換会（琵琶湖を戻す会主催）で「芥川における国外外来種の生息状況」を発表しました。
- ＊ **アカガエルの繁殖状況調査**：冬季のアカガエルの繁殖状況調査を実施しました。
- ＊ **鳥類生息状況調査**：芥川の門前橋～塚脇橋における鳥類の生息状況調査として、ライセンスを毎月1回実施しています。この結果を「大阪バードフェスティバル 2010」で発表しました。
- ＊ **植物調査**：ボランティアの協力を得て芥川の植物相調査と相観植生調査を実施し、企画展において「芥川の植物」のパンフレットと普及冊子を作成し、市民に配布しています。
- ＊ **ハグロトンボしらべ隊**：平成 22 年 7 月から、市民参加型の調査としてハグロトンボのマーキング調査を行っています。平成 22 年度では子どもから大人までの 70 名が隊員として参加しました。平成 23 年 1 月に行われた「たかつきエコフェスタ 2011」で子ども隊員と一緒に成果発表をしました。平成 23 年度以降も継続して調査します。
- ＊ **昆虫調査**：主に芥川緑地で昆虫を採集し、標本の充実を図りました。成果は平成 23 年度の企画展「芥川緑地のいきもの」で発表予定です。
- ＊ **標本収集**：調査時に標本を採集する他、市民から標本、資料、図書などの提供をいただきました。特に 2010 年 1 月には、高槻市内で採集された新種を含む冬虫夏草（キノコ）の標本提供を受けました。残念ながらあくあびあには適切に保存できる施設がないため、大阪市立自然史博物館に収蔵されましたが、あくあびあでこの寄贈標本による企画展を開催させていただき、好評を得ました。



魚類調査

芥川の魚類の調査をしました



植物コドラート調査

企画展「芥川の植物」のためにコドラート調査をしました



たかつきエコフェスタ 2011
ハグロトンボしらべ隊の成果発表

種 目	H21	H22
魚類	25	7
両生類	0	0
爬虫類	6	8
鳥類	64	17
哺乳類	23	10
昆虫類	68	7
植物	4	1
きのこ・菌類	4	0
甲殻類	2	1

標本受け入れ点数
標本以外にも多くの書籍、写真、情報等を提供いただきました。



冬虫夏草の標本

提供いただいた標本で
企画展を行いました



イノシシ骨格標本

茨木の山中に埋めたイノシシの情報を
いただき、掘り出しているところ



大阪バードフェスティバル 2010
鳥類調査結果を発表。鳥の骨や剥製なども展示

高槻市の豊かな自然を紹介している「あくあびあ芥川」、野鳥コーナーではわかりやすく羽を広げて展示されていますが、Mさんを中心とする高槻野鳥の会会員や日本野鳥の会会員が、収集・剥製化に協力されたとのことで納得しました。

私の地元吹田市は全市域が市街化区域、わずかに残る自然を今のうちにと記録しても、自然に関する調査報告の公的な保管場所がありません。「ビジターセンター」をつくってほしいとの運動を進めてきたものの厳しい状況です。

高槻市に市民が生き物に触れることのできる拠点、自然を守る人々のベースキャンプ「あくあびあ芥川」があり、様々な企画を実施されていることを応援したいと思います。



（日本野鳥の会大阪代表 平（ひら）軍二）



連携・交流

あくあびあは芥川創生の活動拠点です。地域の皆さん、他の博物館・資料館、行政などいろいろな人たちと連携し、交流することが運営目的の柱です。このため、多くの方々、団体との交流を図ってきました。

小さいとこサミット開催

博物館同士の連携を深めようと、平成22年2月22日に第1回目をあくあびあ主催で開催しました。小さな博物館では学芸員は研究もできず、日々の雑用でせいっぱいなのが実情で、「なんとか協力しあえないだろうか」というテーマのもと、50人が集まる会となりました。これを機会に「小さいとこネットワーク」としてメーリングリストで情報交換を行っています。第2回目は平成23年2月7日に貝塚市で行われ総勢60人が参加しました。

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワークに入会

博物館が作るNPOに参加することで、他館の学芸員と交流ができ、NPOが提供する博物館学芸員向けの講座に参加することができました。

イベントへの参加・協力

他団体が行うイベントに積極的に参加しています。地域で活動する団体の講座へ講師として招かれたり、団体見学の際に館内や周辺を案内したりと、他団体からの要望を積極的に受け入れ、団体の活動をサポートしました。



小さいとこサミット
小さな博物館が学芸員たちが大集合！



自然観察会「春の昆虫」
兵庫県立人と自然の博物館と共催



食の文化祭
外来魚の啓発ブースを出展



学校との連携

大学からの博物館実習、中学校の職場体験や小学校、幼稚園、保育園の施設見学を受け入れ、学校園側の希望にそって講座や展示解説を実施しました。教員向けの研修も受け入れました。



施設見学
見学に来た学校や団体から要望があれば、展示解説や講座を行います



職場体験
中学校の職場体験学習では、水槽の掃除などを体験してもらいます

連携施設・団体	内容
大阪市立自然史博物館	自然観察会として平成21年度には3回、22年度には4回の観察会を共催。 自然史博物館が主催する「ホネホネサミット2009」「大阪自然史フェスティバル2009」「大阪バードフェスティバル2010」にブース出展として参加。
伊丹市昆虫館	伊丹市において2010年秋季に実施された「鳴く虫と郷町」に協力。「いたこんから鳴く虫がやってくる!」、「鳴く虫巡回展～鳴いているのは誰だ!」で展示するパネル等を伊丹市昆虫館から借用。
飯田市美術博物館	企画展示「安田守写真展 不思議なムシ オトシブミ」で標本を借用。
兵庫県立人と自然の博物館	企画展示「安田守写真展 不思議なムシ オトシブミ」、自然観察会「春の昆虫」を共催。
吹田市立博物館	平成21年度の特別展「吹田市の自然物語」に標本貸出、講演会への講師派遣。平成22年度の特別展「吹田の自然と環境～ヒメボタルのいるまち」で「骨の話と尾根のアクセサリー作り」の講師派遣。
高槻ジャズストリート実行委員会	平成21,22年の各1回、当館が主催するあくあびありバーサイドコンサートにジョイントし、実行委員会からはミュージシャンの派遣と広報活動を実施。
食の文化祭実行委員会	平成21年、食の文化祭に外来魚についてのブース出展。
水草研究会	平成22年の「水草研究会第32回全国集会」に共催し、ポスター発表。大会実行委員会のメンバーとしても参加。
COP10関連事業 (大阪府環境農林水産総合研究所水生生物センター、亀岡市文化資料館、滋賀県立琵琶湖博物館、水道記念館、滋賀県ヨシ笛の会)	「生物多様性条約」の締結国会議(COP10)に関連して、「国際生物多様性年・流域連携企画展」に参加。環境省が実施するCOP10おりがみプロジェクトに参加。おりがみプロジェクトは「あくあびあふれあいフェスタ2010」にもブース出展。
NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク	企画展「鳴く虫巡回展～鳴いているのは誰だ!～」、博物館スタッフのための技術講座「プラスチック封入標本の作製」等で共催等。

年度	内容		参加者数
H21	大学	博物館実習	3校3名
	中学	職場体験学習	5校19名
	小学	総合学習・校外学習	16校2439名
	幼・保	遠足	100施設1667名
	教員	社会体験活動研修	4名
		理科研修	43名
	その他	施設見学	2校83名
H22	大学	博物館実習	2校3名
		インターン	1校1名
	中学	職場体験学習	10校43名
	小学	総合学習・校外学習	28校2549名
	幼・保	遠足	41施設2133名
	教員	社会体験活動研修	5名
		理科研修	27名
その他	施設見学	6校231名	



情報発信

- ・「芥川の魚類」冊子、パンフレット、「芥川の植物」冊子、パンフレットを作成。
- ・あくあびあのリーフレットをリニューアル。
- ・ホームページを充実させ、ブログであくあびあや高槻市内の生きものを紹介。
- ・あくあびあのファンクラブとして「あくび・くらぶ」を平成23年4月からスタートします。会員にイベント情報を定期的に郵送して、より一層あくあびあを活用してもらうための仕組みです。



普及冊子



質問カウンター&ミュージアムショップ

3階事務所入り口はスタッフに質問しやすいようカウンターをもうけ、一部にミュージアムショップを開き、来館の記念になるグッズや参考となる本、観察用具などを販売しています。カウンターでは平成21年春に保護されたツバメ、21年秋からはスナネズミを飼育し、来館者に愛されています。販売だけでなく、生き物や高槻市の自然についての質問など、スタッフに声をかけてください。



質問カウンター
&
ミュージアムショップ



スナネズミ
質問カウンターの人気者

スタッフ紹介

あくあびあで働くスタッフ（平成23年3月現在）

- ・館長 田口圭介（ただし平成23年4月以降は山本忠雄）
- ・事務局長 小柿正武（森づくり）
- ・主任学芸員 高田みちよ（植物・鳥類）
- ・主任研究員 花崎勝司（魚類）
- ・学芸員 吉見知恵（教育普及）
- ・学芸員 山中みのり（市民参加型調査・哺乳類）
- ・事務スタッフ 菊池めぐみ、児玉敬子

その他、運営委員やWSスタッフをはじめ、多くのスタッフが運営に協力しています。

指定管理会計（平成21年度）

	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料	49,000,000	49,000,000
	雑収入	0	99,779
	合計	49,000,000	49,099,779
支出	人件費	20,460,000	20,051,431
	光熱水費	13,000,000	9,820,057
	建物管理委託費	9,703,000	8,733,742
	修繕費	2,400,000	3,720,109
	その他	3,437,000	6,774,440
	合計	49,000,000	49,099,779

あくあびあのご案内

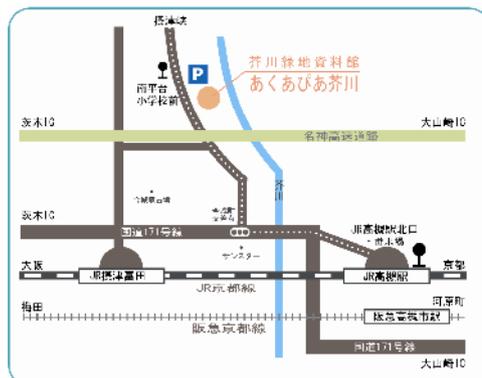
開館時間：午前10時～午後5時

休館日：毎週月曜日（祝日のときは翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）

入館料：無料（ただし特別展は有料）

駐車場：普通車のみ 1時間まで毎に100円
3時間を超えると400円（ただし1日1回）
8時～6時半（6～9月は7時半まで）

アクセス：JR高槻駅北バス停5番乗場から「関西大学行」または「平安女学院東行」で「南平台小学校前下車」すぐ
JR摂津富田駅北1番乗場から「奈佐原」行き「北南平台」下車徒歩約10分



発行：
2011年3月

あくあびあ芥川共同活動体

〒569-1042 大阪府高槻市南平台5-59-1

TEL：072-692-5041（FAX：7864）

E-mail：info@aquapia.net

URL：

http://www.city.takatsuki.osaka.jp/db/kurasu/aqua_top.html

みなさまのご来館を
お待ちしております

